

基本事業コード	35010001	担当課所名	農業委員会
基本事業名	農業委員会運営事務		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	5	すぐれた価値を生み出す「活力のまち」
	政策	3	自立した農林水産業のまちづくり
	施策	2	生産基盤の強化
			総合振興計画 135 ページ

基本事業の概要
 優良農地を守るため、農地転用許可申請・届出等で、利用関係を調整し、遊休農地の解消を進めることで農地の有効利用を図る。円滑な農業経営支援のため農家台帳の整備・保管し、農業者年金の普及を図る。農業等の先進地視察や研修会に参加し調査研究することで農業委員・職員の資質の向上を図る。農業者等に対し農業に関する見識、関心を高めてもらう。

対象 市民、農業者、消費者、小学生、農業委員、事務局職員、農地
意図 (対象をどのようにしたいか) 優良農地を守り、農地の有効利用を図り、円滑な農業経営、担い手の確保をする。農業等の情報を知り、農業への見識、感心を高めてもらう。農業等の調査研究により資質向上を図る。

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
許可申請の適正処理率	適正処理された許可申請数/全申請数×100	%	100.	100.	100.	100.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	農業委員会各種会議の開催	指標 農業委員会総会の開催日数	12.	回	A			
		10,556,290	10,238,775	10,333,000	12.	維持 維持		
02	農地法他、法律に基づく申請受理、調査、進達、許可書交付業務	指標 3, 4, 5条申請件数	180.	件	A			
		141,518	149,512	97,000	216.	維持 維持		
03	農家台帳の整備・保管	指標 データ更新回数	1.	回	A			
		260,787	0	0	0.	維持 維持		
04	遊休農地解消・活用事業	指標 遊休農地活用草刈機無償貸出件数	30.	件	C		◎	
		535,933	395,690	581,000	24.	縮小 拡充		
05	国有農地の管理	指標 草刈り回数	2.	回	A			
		12,000	12,000	12,000	2.	維持 維持		
06	農業者年金基金からの委託業務	指標 農業者年金新規加入者数	2.	人	A			
		15,414	8,106	20,000	0.	維持 維持		
07	農業委員県外視察研修の実施、県・他団体研修会等への参加	指標 農業先進地視察の実施、研修会等への参加回数	10.	回	A			
		996,300	1,017,620	1,107,000	8.	維持 維持		
08	「農政ちちぶ」発行	指標 「農政ちちぶ」の発行回数	3.	回	A			
		835,510	867,309	906,000	3.	維持 維持		
09	農家めぐり事業	指標 農家めぐり実施回数	1.	回	A			
		3,800	4,000	4,000	1.	維持 維持		
10	農業に関する作文・図画コンクールの開催	指標 農業に関する作文・図画コンクール応募点数	90.	点	A			
		86,116	73,600	88,000	80.	維持 維持		
11	農地制度実施円滑化事業	指標 農地利用状況調査面積	2,783.	ha	A		○	
		660,600	1,006,100	1,007,000	2783.	維持 維持		
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円) 14,740,000 14,591,000
 事業費の合計(円) (A) 14,104,268 13,772,712 14,155,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	2,618,000	2,893,000	2,893,000
正規職員	業務量	3.75人	3.75人	
	人件費(B)	22,283,460	22,576,879	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量			
	人件費			

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 36,387,728 36,349,591

【重点化欄】
 ◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)
 ○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	x	C, B	B, C	C
	維持	x	B	A	x
	縮小	x	C	x	x
	休廃止	D	x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
	基本事業の意図は適切である。また、基本事業指標と目標値の設定は適切である。実績値に問題はない。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？
	事務事業に問題はない。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？
	実施主体は適切である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述</p> <p>遊休農地の解消・活動事業で貸し出している草刈り機は、不特定多数が使用するため、修繕費に毎年かなりの費用がかかっている状況であり、なおかつ、機械の耐用年数となり、老朽化が進んでいる状況にある。当初の目的である農地の保全管理を実行するための方策としては、充分周知できたと理解している。他に6月を以って遊休農地対策として進めているヘアリーベッチ関連事業は、その実用性が認められてきている状況にあるため、遊休農地対策としてヘアリーベッチの普及に注力したい。</p>		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案		平成24年度限りで遊休農地対策として貸し出している草刈機の貸出事業を廃止する。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案		草刈機の貸出事業を廃止した。草刈機については、他の公共施設管理部門へ移管を図った。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
遊休農地対策としてヘアリーベッチ実証展示園を設け普及すべく、農家へ種子の配布を実施してきた。数年前から、農業委員会で実証試験を行っており、その成果として、景観形成・絶肥料効果・良質の蜂蜜が採取できる蜜源などの実績が上がっている。今後、さらなる地域的対策として、より安い費用で同等以上の効果が期待できる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	町田 達彌	電話番号 25-5231
----------------------	-------	-----------------